

1 主題名 かけがえのない命

2 資料名 「あきらめるな！」

3 ねらい 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。

(3-2) 生命の尊重

#### 4 主題について

##### (1) 価値について

生命は、かけがえのない大切なものであって、決して軽々しく扱われてはならない。たとえ動植物であっても同じである。生きとし生けるものの生命の尊厳に気付き、互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の念をもつことは重要である。そのためにはまず自己の生命への尊厳、尊さを深く考えることが大切である。

##### (2) 生徒の実態。

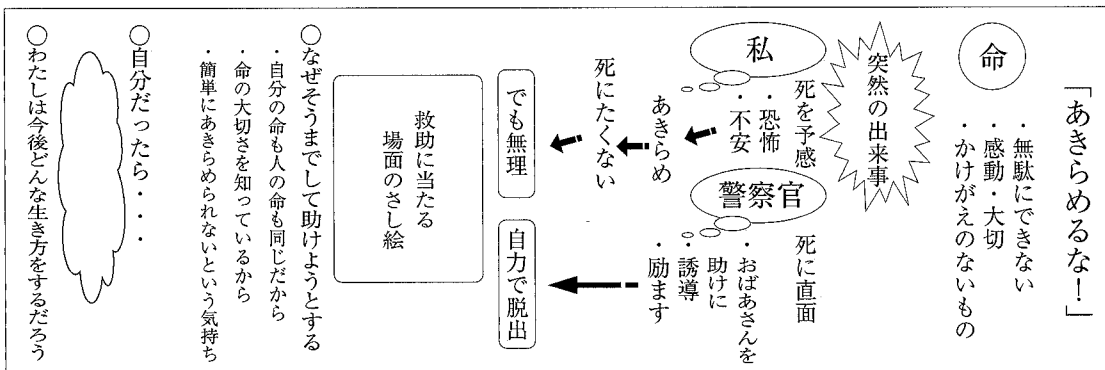
価値観の多様化、少子高齢化、核家族化等により、自然や人間とのかかわりが希薄になり、生徒は人間かけがえのない生命の有限さに心を揺り動かされたり、生命の尊さについて考えたりする機会を失っている。また、近年多発しているいじめや青少年の自殺、他人の生命を簡単に奪ってしまう事件等の影響もあり、自他の生命の尊さや自己の生命に対するありがたみを十分に感じているとは言えない。このような生徒たちに生命の大切さを自覚させ、生きていることの喜びを感じさせながら、自己実現に向けて力強く生きようとする態度を培うことは意義深いことである。

##### (3) 資料について

本資料は、平成5年8月6日鹿児島地方を襲った集中豪雨による大惨事の一つに遭遇し、死に直面した主人公と無我夢中で救助に当たる警察官の姿を基にした資料である。

列車が突然発生した土石流に行く手を阻まれ、他の乗客と共に国道へ避難したものの、再び発生した大規模の土石流に巻き込まれ、海に投げ出された主人公が、海底に沈みながら死を覚悟するが、そんなとき、自らも死の恐怖と戦いながら、必死で救助活動をする警察官の姿を見て心が動く。突然我が身に襲いかかった災害にひるむことなく、自分も他人の命もどんなことをしても救おうとする警察官の力強い姿勢を通して、生命を軽視した軽はずみな行動について疑問を抱かせ、自他の生命の尊さや自己の生命に対するありがたみを感じさせたい。

#### 5 板書計画



6 展開例（2時間扱いとすることも可）

過程	主な学習活動（・生徒の意識）	指導上の留意点
導入	<p>1 生命誕生のVTRを視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命が誕生した瞬間の気持ちはどうだろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大切にしたい・かけがえのないものである</li> <li>・ 無駄にはしたくない。</li> <li>・ 感動した。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一つの小さな命が生まれるまでの大変さと生まれた時の周囲の大きな感動に気付かせる。</li> <li>○ かけがえのない命を軽視した行動についても知らせ、課題が明確になるようにする。</li> </ul>
展開	<p>2 資料「あきらめるな!」を読んで、主人公の心の動きと必死で救助に当たる警察官の行動について話し合う。</p> <p>(1) 死を予感するような出来事に突然遭遇したとき、わたしはどんな気持ちになったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不安になった。</li> <li>・ 一瞬頭が真っ白になり、体が震えた。</li> <li>・ 恐怖心が増した。</li> <li>・ 怖くて足が動かさなくなった。</li> </ul> <p>(2) 偶然居合わせた警察官は、自分も死ぬかもしれないのに、なぜ崖の斜面に取り残されたおばあさんを助けに行ったのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察官としての義務感</li> <li>・ ただ助けたい一心で</li> <li>・ このまま見殺しにはできないという思い</li> </ul> <p>(3) 「まだ死にたくない。」と思いつつも、でも、無理だと考えるわたしについてどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大切な命をそう簡単にあきらめるべきではない。</li> <li>・ 状況によってはそうなるだろう。</li> </ul> <p>(4) わたしを励ましなが泳ぎ続ける姿を見てどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分一人なら助かるのに。</li> <li>・ どんな状況でもあきらめないのはすごい。</li> <li>・ どうしてそうまでして人を助けるのか。</li> </ul> <p>(5) 一度はあきらめた命。わたしは今後どんな生き方をするだろう。</p> <p>3 人間だけでなく動植物等、命あるものを軽く扱ったことや命の大切さを実感したこと等を出し合い、自分自身はどうあるべきかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「生命尊重」にかかわる自分の体験を想起させ、資料に自分を重ね合わせて考えさせる。</li> <li>○ 「自分も死ぬかもしれない」という状況で、「他人のために危険をおかしてまで助けに行けるだろうか。」、また、「職業上の責任だけで行けるだろうか。」と問いかけ、警察官の行動を支えた考え方に気付かせる。</li> <li>○ 「まだ死にたくない。」という思いの中には、まだ精一杯生きていない、まだやりたいことがあるという思いがあることに気付かせる。</li> <li>○ なぜ見ず知らずのわたしを、そうまでして助けようとするのか、自分がその場にいたらどうするかについて、グループで話し合わせる。</li> <li>○ グリーンタイムで植えた自分の花、いじめや軽率な行動、動物とのかかわり方等から、「生命尊重」について考えさせる。</li> <li>○ 新聞記事や文学作品等を準備しておく。</li> </ul>
終末	<p>4 教師の説話や類似の話等を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心に響き、自己の考え方を前向きに考えようとする意欲につながるような詩や説話、類似の話等を準備しておく。</li> </ul>